



環境に関するリスク コミュニケーション事例

— 第2回地域環境報告会 —

2004年11月26日

コニカミノルタフォトイメージング(株)
小田原サイト

コニカミノルタ環境方針

私たちコニカミノルタグループは持続可能な発展と利益ある成長を目指し、環境・経済・社会の観点を企業戦略に融合することで、**会社運営のすべての面で人と環境に調和した企業活動を進めます。**

7. 情報公開の推進

私たちは、事業を取り巻く利害関係者に対して**情報開示及びリスクコミュニケーションを積極的に行い**、説明責任を果たすとともに、社会の共生につとめます。 本方針は社外に対し公開します。

全社目的目標指示書

1. 全社環境目的

情報公開の推進：コニカミノルタの説明責任を果たし、透明性向上を図るために、**情報公開を積極的に進め、リスクコミュニケーションの強化を図る。**

2. 全社環境目標(2004年度)

- ①地域環境報告書の発行
- ②地域環境報告会の開催

CSRについて

CSR活動

1. 社会貢献活動を含めた企業の社会的責任
2. 欧米からスタートし、信頼性の担保として国際基準(ISO)化の動き
3. **C**orporate **S**ocial **R**esponsibility

コニカミノルタ社会貢献基本方針

：よき企業市民の一員であるという認識のもと、「新しい価値の創造」活動を通じて、社会の発展や豊かさの実現に貢献します。

小田原サイトにおけるCSR

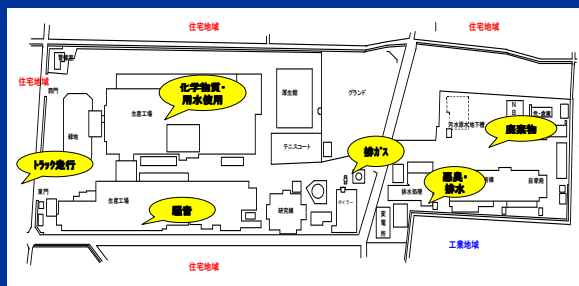
グループ行動憲章
従業員個々人のモラル向上

- ①法遵守(コンプライアンス)
- ②助け合い、相互援助
- ③情報公開

社会的信頼関係の構築

小田原サイトの活動状況

(1) 立地条件



小田原サイトの活動状況

(2) 活動分類と実績－1

活動分類	実績
①情報提供	地域環境報告書発行(2000年度～) 社外発表(2004年度分) ・エコプロダクツ2004パネル参加 工場見学の受け入れ

小田原サイトの活動状況

(2) 活動分類と実績－2

活動分類	実績
②コミュニケーション	地域環境報告会の開催(2003年度～) ・神奈川県HPにも掲載 近隣自治会長との懇談(1998年度～)

小田原サイトの活動状況

(2) 活動分類と実績－3

活動分類	実績
③地域社会への貢献活動	協議会への参画 ・神奈川県環境保全協議会(理事) ・酒匂川水系保全協議会(副会長) ・小田原産廃対策協議会(理事) ・その他(労働安全衛生、工業・観光、防犯・交通安全、福祉・スポーツ振興等)

小田原サイトの活動状況

(2) 活動分類と実績－4

活動分類	実績
④環境マネジメントシステム	ISO-14001認証取得(1997年) ・環境方針の公開ルール ・コミュニケーションルール

地域環境報告会の開催

(1) 開催方針

- ①一方通行気味であったリスクコミュニケーション活動のレベルアップとして、説明責任を果たすと同時に、自由に話しあえる報告会を企画
- ②地域環境報告書をプロジェクター及びポスター展示で説明
- ③昨年度のご意見、ご要望に対し、調査・検討し、結果をご報告

昨年度の地域環境報告会の要望事項例

NO	ご意見	課題名
1	県道から小田原サイトに入りにする大型トラックが東門側の交差点を曲がる時、道路一杯に曲がるため、危険であり怖さを感じる。	サイト周辺の道路整備
2	緊急事態が発生した時、地域住民に拡声器をもって事態を知らせるようにしてほしい。	緊急事態情報伝達ルートの設置
3	地下水くみ上げ量を削減してほしい。	用水使用量の削減
4	ベランダの物干し竿を雑巾で拭いたところ、黒いススが付着した。	自家発電設備からの黒煙

地域環境報告会の開催

(2) コニカミノルタ統一ポリシー(心がまえ)

1. 近隣住民に、やむを得ずご迷惑をかけていることを自覚。
2. 苦情は、まず相手の話をトコトン聞く。
3. 相手の気持ちを思いやり、コニカミノルタの事情を押しつけない。
4. すぐに回答が出なくても良い。「どうすれば良くなるか、一緒に考えましょう。」の姿勢。
5. 判らないことは、正直に「判らない」と言う。

地域環境報告会の開催

(3) 開催準備

準備時期	準備内容
60日前	地域環境報告書完成・報告会の企画立案 行政、自治会長に事前説明
30日前	案内状配布(近隣住民、行政、企業等) 案内チラシ設置(小田原市役所総合案内所・近隣支所・環境保全課等)
20日前	プロジェクター原稿・想定質問回答完成 リハーサル(ロールプレイング)開始
10日前	プレスリリース
5日前	ポスター・展示物・会場準備(約200m ²)

地域環境報告会の開催

(4) 報告会スケジュール

14:30～受け付け開始

15:15～報告会: 責任者挨拶(10分)

取り組みプロジェクター説明(20分)

質疑応答(48分)

閉会(2分)

16:35～ポスター説明(25分)

展示品紹介(サンプル提供)

地域環境報告会の開催

(5) 説明概要

項目	概要
小田原サイト	①環境管理体制 ②環境負荷
環境データ	①緊急時対応 ②水 ③大気 ④廃棄物 ⑤化学物質(PRTR) ⑥地球温暖化 ⑦土壌汚染 ⑧騒音
指導・要望	①昨年度の報告会要望事項への回答
トピックス	①情報公開 ③社会貢献
終わりに	①連絡先等

地域環境報告会の開催

(6) 参加者(38名)

分類	内訳	人数
参加者	地域住民	8名
	行政関係	5名
	企業関係	25名
社内対応者	サイト内	14名
	サイト外(本社)	2名

地域環境報告会の開催

(7) 主な発言内容

・水使用について

- ①水使用量をどんな場合にも削減して欲しい。

・輸送について

- ①昼間は交通弱者を通行しており、トラック輸送を夜間に実施できないか。

地域環境報告会の開催

(8) 報告会風景



地域環境報告会の開催

(9) アンケート結果

・説明時間について

ちょうど良い23名、短い0名、未記入2名

・取り組み内容説明について

良く判った15名、良く判らない9名、未記入1名

・展示について

良い13名、普通9名、未記入3名

・昨年度の要望事項に対して

良い22名、不十分1名、未記入2名

* 概ね、好評であった。

今後のリスクコミュニケーション

項目	取り組み方針
①地域環境報告会の継続	<ul style="list-style-type: none"> ・継続性(毎年開催) ・発言への対応(定期的に対応検討会を開催中) ・マンネリ化(形式化)の回避(参加者減少対策)
②地域環境報告会の発展	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントと共催 例えば・・・お祭り、工場見学等 ・対象者別開催 近隣住民、近隣企業等